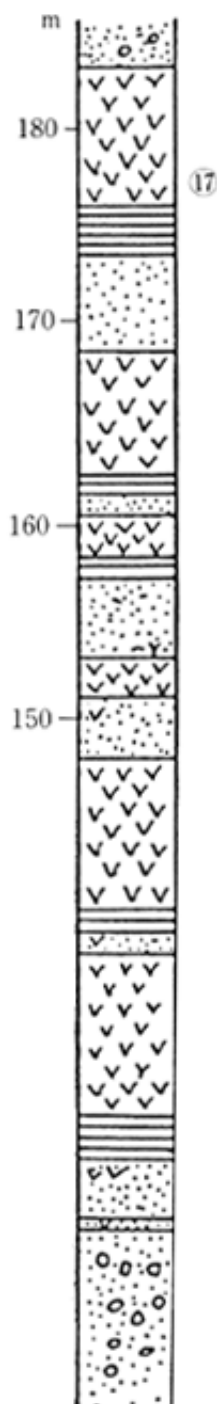


ハコヤナギ属 *Populus* sp.

▼発見場所、
垂水区名谷町
の柱状図



▲葉の縁には、小さいのこぎり葉が見られる。

ハコヤナギ属

葉の形は丸味をもったひし形か、やや三角形をしている。比較的長い柄をもっており、葉の縁にはのこぎり葉がある。基部から3本の脈がでており、2次脈は少ない。

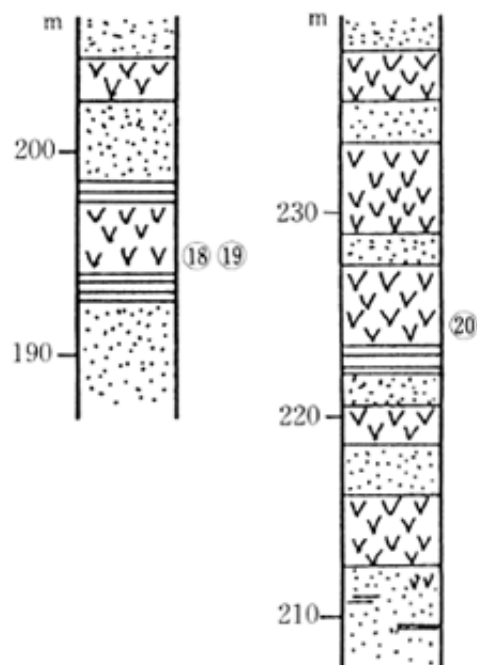
神戸から産出するハコヤナギ属と思われる化石には3つのタイプがあり、1つは北アメリカなどの現生種のドロノキとよく似ている。

白川累層上部と藍那累層より産出し、葉身が大きいために曲がりくねった状態で産出することが多い。

(ヤナギ科 ハコヤナギ属 *Populus* L.)



▲ 丸味のある三角形の形が特徴



▲ 発見場所、左：神戸市北区山田町、
右：神戸市兵庫区鶴台の柱状図



▲ 葉柄の長い特徴がよく分かる。

■ 葉の先端が細長くのびるタイプ。

